

人生のメタファー

人生は〇〇である…人生のメタファー

魂の学校

良いことばかりでなく悪いことが自分を成長させ、さらなる高みへと導いてくれることがある。喜怒哀楽の感情をありのままとせず、内観することも学びである。全ての経験は、魂を成長させ教訓を得るための時間でもあり、自分の糧となり得る。人間だからこそ、自分の存在価値を問うたり、いのちが活かされていることを感じるができる。時間の使い方や人間関係に苦悩しながらも、進みも退きもできる。課題と向き合ったり、逃げたり、試行錯誤しながら魂が磨かれ、やがて卒業＝死となる。人生は「魂の学校」である。

野球の試合

序盤の1、2回や打者一巡目の時は、まだ新しい環境に慣れていない、様子を見ながらの時間。しかし、手の内を知らないが故に、大胆なこともできる。体力もあって、直球勝負でグイグイ押せる。中盤になると徐々に自分の力が発揮できるようになる。変化球を織り交ぜるなど工夫や手ごたえを感じることもできる。終盤の8、9回は、体力も落ちて焦ってくる。今までの投げ方でいいのか…疑問やふがいなさを嘆くこともある。なかなか老練で安定した投球とはいかない。試合はゲームセットになるまで、何が起こるかわからない。雨天コールドや一発逆転、サヨナラもあり得る。選手、投手、野手、打者、監督、チーム、敵味方…立場様々に事情もまた様々である。人生は「野球の試合」である。

桜

成長するために、小さな命が集積した大地の養分、天からの恵みである雨、そして降り注ぐ陽の光を体いっぱい吸収していく。冬は厳しい寒さの中で出番を待ち、春は一面花咲き、夏は生い茂る葉で光を受け、秋は冬支度に葉を落とす。一連を繰り返しながら大きくなって、やがて終焉を迎えサクラ散る。桜は春夏秋冬、輪廻のごとくである。人生は「桜」である。



すごろく

サイコロを振って何の目が出るかはわからない。一瞬一瞬、一回一回が出たところ勝負で、その時その時を楽しむ。進んだり、戻ったりを繰り返すが、結局はみんな上っていく。人生は「サイコロ」である。

パチンコ台

玉は弾かれ、あちこちの釘に当たり、流れや方向を変えて、上から下に流れてチューリップに入るか、最下の落とし穴に行ってしまう。大当たり、大外れ色々である。人生は「パチンコ台」である。

「今回の失敗は高い授業料だった」「結婚はもはや人生の必修科目でない」「私はAKBを卒業します」…学校教育のメタファーもまた多様です。事象も人生になぞること、いのちを感じるができます。皆さんも〇〇のメタファーを考えてみてはいかがでしょうか。